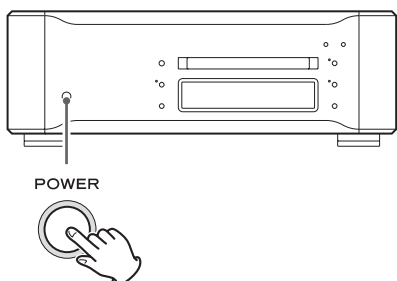
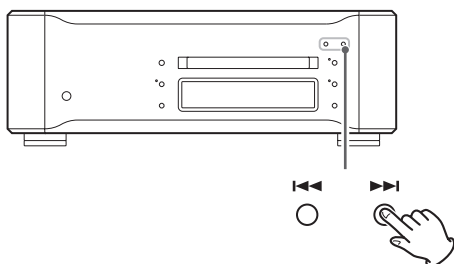
初めにお読みください・P-03を初めてお使いになるときは

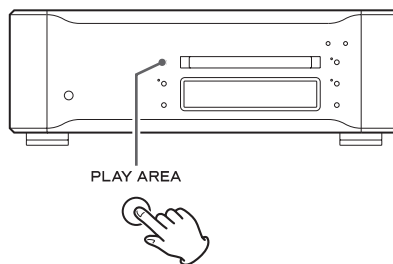
エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
P-03を初めてお使いになるときは、まず最初にデジタル出力を設定する必要があります。
全ての接続が終わったら、以下の操作を行ってください。接続した端子に合わせて正しく設定しないと、音が出ません。

1 本体の電源をオンにする。

ディスプレーに「OUT>Select」が点滅表示されます。

2 スキップボタン(⏮/⏭)を使って、デジタル出力を切り換える。

XLR、DUAL、i.LINK、RCA

スキップボタン(⏮/⏭)を押すたびに設定が変わります。D/Aコンバーターが接続されている端子を選んでください。

- Dual AES対応の機器と本機を2本のXLRデジタルケーブルで接続している場合は、DUALを選んでください。
- ES-LINKは、スーパーオーディオCDのデジタル出力を可能にしたエソテリック独自のフォーマットです。エソテリックのES-LINK対応のD/Aコンバーター(D-03またはD-01)と本機のXLR端子を2本のXLRデジタルケーブルで接続し、デジタル出力をDUALに設定した状態でスーパーオーディオCDを再生すると、自動的にES-LINKフォーマットでの出力となります。

3 PLAY AREAボタンを2回押して設定を終了する。

ここで選んだ設定を変更したい場合は、P-03の取扱説明書の18～19ページをお読みください。

D00881200C

ESOTERIC

P-03

目　次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

特　長

さらに進化したスーパーオーディオCD用VRDSメカニズム（VRDSメカニズムの為に最適化されたオリジナル軸受搭載）

VRDSメカニズムは、ディスクと同径のターンテーブルにディスクを確実にクランプさせせることによりディスク自身の持つ固有振動やメカニズム系の不要振動を徹底排除し、ディスクにゆるやかな傾斜を与えることによりディスクの反りや歪みを矯正するメカニズムです。さらに、光学ピックアップとディスクのピット面の相対光軸精度が向上するため、ディスク読み取りエラーの減少やクロック回路へのタイミングエラー発生防止にも効果を発揮します。

P-03には、スーパーオーディオCD用に要求される高速回転と飛躍的な精度を実現するために、ターンテーブルの素材に航空機等にも使用されるジュラルミンを採用するとともに、軽量かつ高精度に加工する新技術を開発しました。

更に、軸受部分にはVRDSメカニズムの為に最適化されたオリジナル軸受をベアリングメーカーと共同開発し搭載しました。転動体に高精度加工されたセラミック・ボールを使うことにより、非常に滑らかな回転を実現しています。この軸受をペアで予圧を掛けて使用することにより、CDからスーパーオーディオCDまでの幅広い回転数に対して、他の軸受方式では得られない高剛性で高精度な回転を可能としています。このオリジナル軸受は日本精工株式会社(NSK)と共同開発いたしました。

これを取り付けるブリッジには重量級２０ｍｍ厚のSS400スチールを使用し、回転による振動を抑制しています。

ネオジウムマグネット採用のコアレス式モーター

大径ターンテーブルをスーパーオーディオCD用に高速回転させるために、長寿命3相ブラシレス・スピンドルモーターを新開発しました。精密オリジナル軸受で強固に固定されたターンテーブルと相まって、回転ムラと振動を徹底的に抑えています。

ネオジウムマグネットによる磁気回路は磁場解析などにより最適化され、モータードライブ電流の変動を少なくして、オーディオ回路などへの影響を減らしています。

光軸の傾きを発生させないピックアップと速度帰還制御スレッド送り

光ピックアップに高剛性の軸摺動方式を採用することによって、レンズが傾かず、レーザー光軸は常に垂直に保たれます。スレッド送り部分にはエソテリックオリジナルのホール素子検出型3相ブラシレスモーターを使用し、速度帰還制御を行うことによって、応答性に優れ、途切れのない滑らかな連続移動が可能になりました。

外部からのディスクへの影響を遮断するシャッター機構
トレー開閉部にシャッター機能を搭載しました。
機密性を高め、外部からの音圧/振動等によるメカユニットへの悪影響を排除します。クローズ時にはシャッター自体が振動しない様にフロントパネルにメカニカルにロックします。

電源部と本体部とが完全別シャーシのダブル・ブロック構造
P-01の設計思想を継承するダブル・ブロック構造。電源ユニット筐体、本体筐体はリアパネルに至るまで全く別の箱で構成されており、それぞれ独立したブロックの筐体が接合された構造を構築しています。
高いアイソレーション性と電源ドライブ能力を限られたスペースファクターの中で実現しています。
電源はメカニズム・サーボ駆動用とデジタル出力信号処理用の2トランス構成で、メカニズム・サーボ駆動用のトランスには電流のロスが少なく瞬発力の優れた高効率のWBトランスを採用しています。

音質に悪影響を与える内外部振動を徹底排除する高剛性ボディコンストラクション
メカニズムを支えるシャーシには5mm厚、質量6kgのスチール製ボトムプレートを採用。外装部にはフロントパネル、天板・底板・側板とも肉厚のアルミ材を採用し、ボディ全体をESOTERIC独自の焼入鋼ピンポイントフット(特許出願中)で支持。メカニズム取付けの高精度化と筐体の高剛性・無共振化を徹底しています。気品のあるショートスクラッチで仕上げた肉厚のアルミ材のフロントパネル、天板・底板・側板、さらに曲線を採用したフロントコーナー部にも採用したアルミ材のデザインは、筐体の高剛性・無共振化と共に最高峰のスーパーオーディオCD/CDトランスポートにふさわしい品位と風格を醸しだしています。

CDのアップコンバート機能
デジタルオーディオ出力は、高精度水晶発振器(温度特性を含め±3ppm)の採用により、ジッターの低減とアップコンバートが行われ出力されます。CD再生時はアップコンバート機能により最大fs176.4kHzでの出力が可能です。(スーパーオーディオCDはDSD信号(1bit64fs)のまま出力されます) さらに、CDのPCM信号をDSD信号にコンバートするモードを新たに追加。それぞれの信号による質感の違いを、繊細なタッチで描き分ける表現力を獲得しました。音楽ジャンル、スピーカーやアンプなど組み合わせるハード機器に合わせ、PCM信号、DSD信号を切換えて楽しめる、ESOTERICならではのオーディオ演奏の提案です。

デジタルオーディオ出力端子
出力端子は、XLR×2系統(ES-LINKおよびDual AES出力時は、2つの端子を使用するので1系統になります)、RCA×1系統、ｉ.LINK×1系統を装備しています。
RCA端子からは、スーパーオーディオCDの音声は出力されません。

スーパーオーディオCDのデジタル出力を可能にした、エソテリックの独自フォーマットES-LINK
スーパーオーディオCDのデジタル出力は、XLR端子を使ったESOTERICの独自フォーマットES-LINK、またはIEEE1394インターフェースにより出力されます。XLR DUAL出力が選択されている状態でスーパーオーディオCDを再生すると、自動的にES-LINKフォーマットでの出力となります。現時点でES-LINKに対応しているD/Aコンバーターは、ペアとなるESOTERIC D/Aコンバーター「D-03」及び、ESOTERICモノラルD/Aコンバーター「D-01」です

WORD SYNC
WORD SYNC機能により、外部からのWORDクロックに同期することができます。入力可能周波数は、44.1/88.2/176.4/100kHzです。WORDクロックと出力Fsが同じ周波数のときには、WORDクロックと出力デジタル信号の位相差を10°以内にする仕様としました。

内部配線材に最高性能を追求
内部配線材には、高純度6N銅を導体に使って、ピュアで高分解能とテクスチャーを併せ持つサウンドを追求しました。6N銅線材の被覆には音質と環境性を考慮したポリオレフィンを使っています。またその他の線材の被覆も、PVCを使わないものとしました。この高純度6N銅ケーブルはESOTERIC「MEXCEL」インターコネクトケーブル、8N銅パワーケーブルと同様に株式会社アクロジャパンの協力により共同開発いたしました。

再生エリア切換ボタンをフロントパネルに配置。
ハイブリッドのスーパーオーディオCDの再生エリアを、リモコンだけでなく本体でも切り換えることができます。

Super Audio CDとDSDは登録商標です。
「i.LINK」は、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称です。i は、i.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。
「i.LINK」と i はソニー株式会社の商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない。** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。
強制	**この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。**
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約30kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	ディスクの挿入口に手を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

使用上の注意

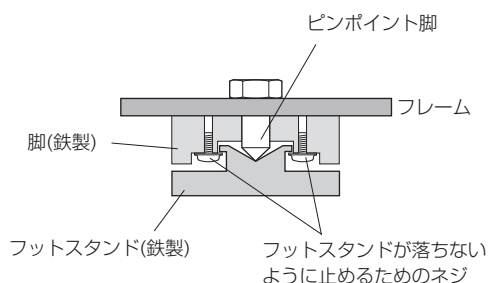
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
リモコン(RC-985)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。

- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。付属の電源コードのプラグ部分に、PSE が刻印されている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。PSE が付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSEボタン(▲)を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオCD

SUPER AUDIO CD

音楽用CD

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDなどは再生できません。
- DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDやDualDiscなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

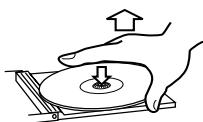
本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

● ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。

● ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

ディスクの正しい持ち方

● 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは画質・音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

● レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

● 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。

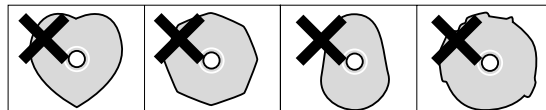
● レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。

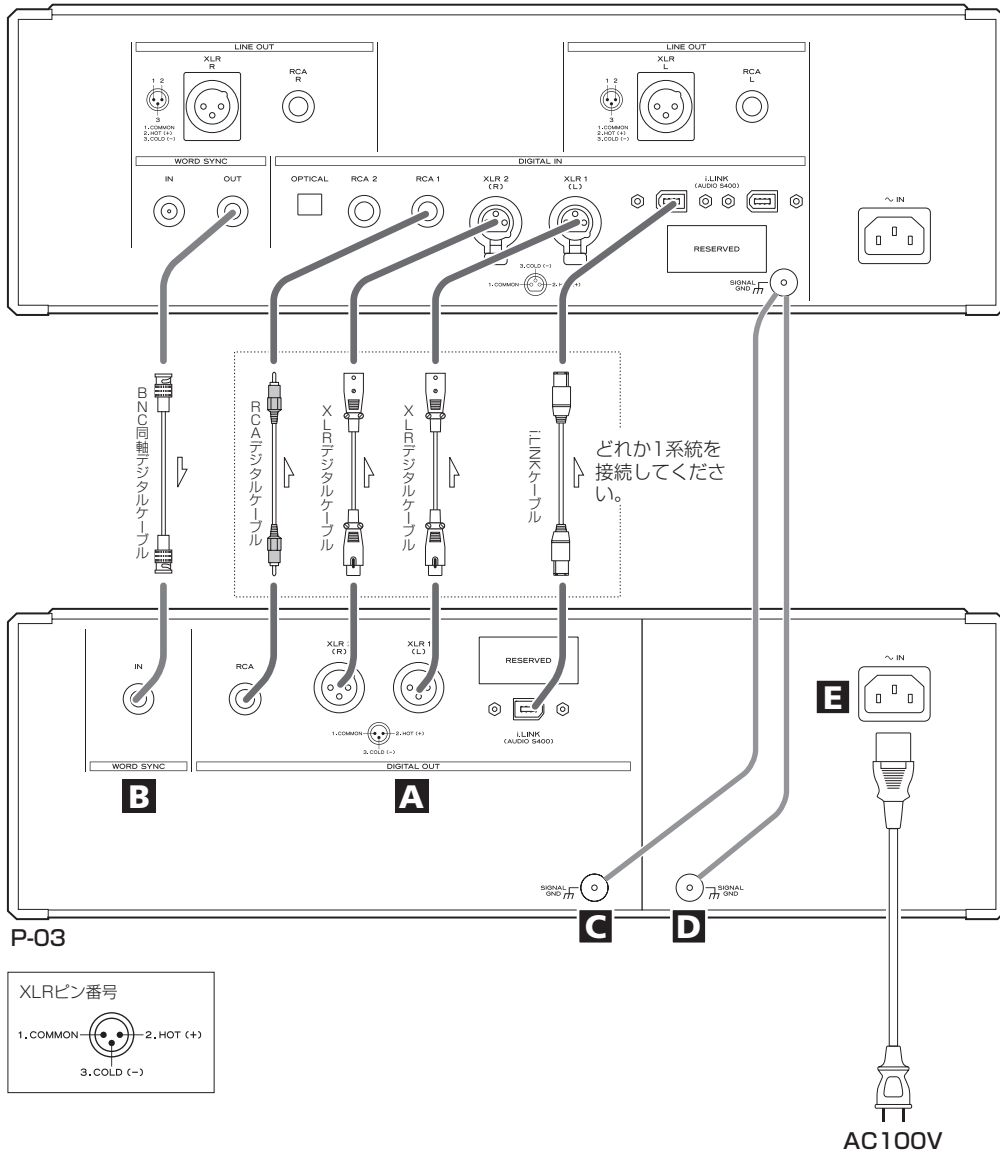
● 再生が終ったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。

● ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● 本機はVRDSターンテーブルメカニズムを使用していますので、ディスクのレーベル面が汚れていると、ディスクがターンテーブルに貼り付いてしまう原因となります。ディスクのレーベル面に汚れがついたら、柔らかい布などで拭き取ってください。

● レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

各デジタル音声出力端子から出力可能な信号

	XLR端子1個を接続した場合	XLR端子2個をES-LINK対応機器と接続した場合	i.LINK端子を接続した場合	RCA端子を接続した場合
スーパーオーディオCDの再生時	不可	**可**	可	不可
CD再生時にアップコンバートをCONV 44.1/88.2/176.4にした場合	**176.4kHzまで可**	**176.4kHzまで可**	(44.1kHz*)	**176.4kHzまで可**
CD再生時にアップコンバートをCONV DSDにした場合	不可	**可**	(44.1kHz*)	不可

*：i.LINK端子から出力される信号はアップコンバート回路を通らないため、アップコンバートしないデータが出力されます。

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A デジタル音声出力端子

デジタル音声を出力します。D/Aコンバーター(D-03など)のデジタル入力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型XLRデジタルケーブル
RCA : RCA同軸デジタルケーブル
i.LINK(AUDIO S400) :
S400対応の6ピンのi.LINKケーブル
(IEEE1394ケーブル)

接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。(18ページ)

スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力するためには、エソテリックのES-LINK対応のD/Aコンバーター(D-03/D-01)、またはi.LINK(AUDIO)端子のあるD/Aコンバーターが必要です。

- D/AコンバーターがES-LINKまたはDual AESに対応している場合は、2本のケーブルを使って本機のXLR1(L)端子とD/AコンバーターのL端子、本機のXLR2(R)端子とD/AコンバーターのR端子をそれぞれ接続してください。

- i.LINK(AUDIO)端子は、接続した機器との双方向のデータ転送が可能なインターフェースです。入力/出力の区別はありません。

- i.LINK端子を使うときは、接続した機器に合わせて「i.LINK出力の設定」(Stream Out)を切り換えてください。(30ページ)

- 「RESERVED」は、将来P-03をバージョンアップする際に端子を増設するためのスペースです。

B ワードシンク入力端子[WORD SYNC IN]

同期信号を入力します。
市販のBNC同軸デジタルケーブル(インピーダンスが75Ωのもの)を使って、D/Aコンバーターまたはマスタークロックジェネレーターのワードクロック出力端子(WORD SYNC OUT)と接続してください。

C 本体部アース端子[GND]

D 電源部アース端子[GND]

各SIGNAL GNDを市販のビニール電線でD/Aコンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

E 電源コード

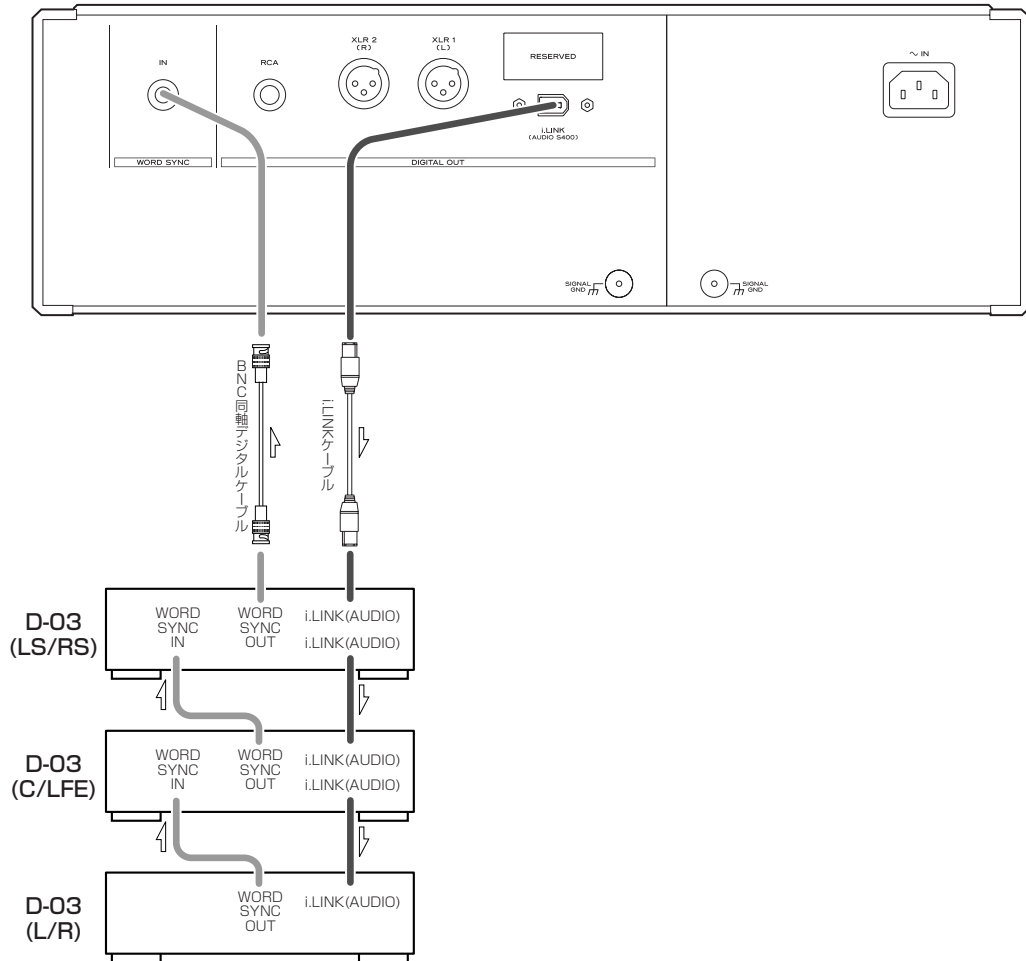
電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

エソテリックでは、リファレンスとして**エソテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エソテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル　XLRデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル　BNCデジタルケーブル
RCAデジタルケーブル　スピーカーケーブル

接続例（3台のD-03との接続）

スーパーオーディオCDをダウンミックスなしでマルチチャンネル再生するためには、3台のD-03が必要です。

まず、P-03のi.LINK(AUDIO)端子をD-03のi.LINK(AUDIO)端子と接続します。次に、D-03のもうひとつのi.LINK(AUDIO)端子を、もう1台のD-03と接続します。3台目も同様に、数珠つなぎに接続します(順不同)。ワードシンク端子は図のように接続してください(順不同)。

クロックジェネレーターG-0/G-0sを接続する場合は、G-0/G-0sのワードクロック出力端子(WORD CLOCK OUT)を、P-03と各D-03のWORD SYNC INに接続してください。

本機の設定

デジタル出力(19ページ)	i.LINK
WORDボタン	ON

D-03の設定

INPUTボタン	i.LINK
WORDボタン	マスタークロックとして使用する1台目はOUT、2台目と3台目はIN。G-0/G-0sを接続した場合は、3台共IN。
W_OUT(設定)	176.4または88.2
CH_SEL(設定)	該当するチャンネル

G-0/G-0sの設定

周波数切換ボタン(A, B, C)	176.4kHzまたは88.2
FREQUENCY MODEボタン	44.1kHz

i.LINK（IEEE1394）

i.LINKとは、国際標準規格であるIEEE1394の別称です。
本機はi.LINK(AUDIO)に対応しています。
本機のi.LINK(AUDIO)端子にi.LINK(AUDIO)対応機器をi.LINKケーブルで接続すると、2chリニアPCM信号やマルチチャンネルの圧縮オーディオ信号に加え、従来アナログでしか伝送できなかったスーパーオーディオCDのマルチチャンネル信号をデジタルのまま伝送することができます。複数のi.LINK対応機器を接続する場合、他の機器を経由して接続してもデータのやりとりが可能ですので、接続順序を意識する必要がありません。

著作権保護システムDTCP

i.LINKを使ってスーパーオーディオCDやDVDオーディオの音声を再生するためには、再生機器とD/Aコンバーターの双方が著作権保護システム DTCP (Digital Transmission Content Protection)に対応していなければなりません。
本機はDTCPに対応しています。

データ転送速度

i.LINK対応機器のデータ転送速度には、100Mbps (S100)、200Mbps(S200)、400Mbps(S400)の3種類があります。本機の最大データ転送速度は400Mbpsです。
接続には、市販のS400対応の6ピンi.LINKケーブルをお使いください。

複数の機器を接続するときに、データ転送速度の遅い機器を間に挟むと、データ転送速度が遅くなります。できるだけデータ転送速度が同じ機器を上流に並べて接続してください。

注意

- i.LINKの伝送フォーマットには、本機の「i.LINK (AUDIO)」(A&Mプロトコル)の他に、BSデジタルなどの「MPEG-2 TS」、DVDレコーダーやデジタルビデオの「DV」などがあります。本機にi.LINK(AUDIO)非対応の機器(パソコンの周辺機器など)を接続すると、誤動作や故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。

- データ転送中は、つながっている機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、電源をオン/オフしないでください。

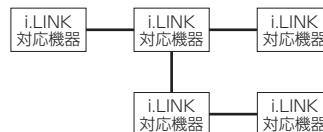
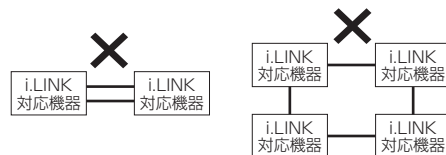
- i.LINK対応機器によっては、電源がオンになっていないとデータを中継できないものがあります。

- i.LINKに対応していても、機器によっては動作しないことがあります。

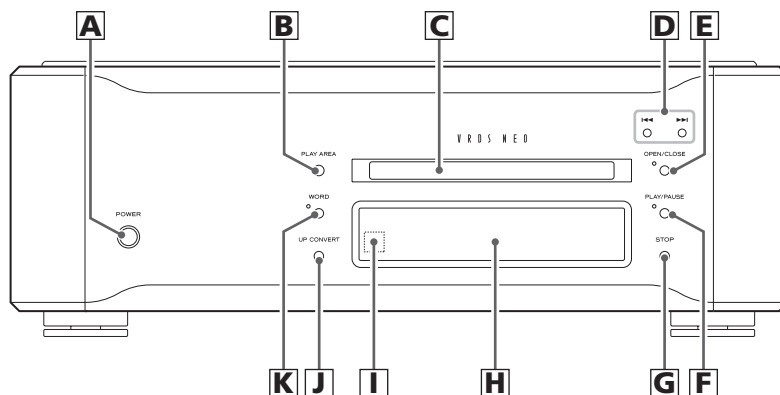
- 受信側の機器が本機の出力モードに対応していないことがあります。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

複数のi.LINK機器を接続するには

デイジーチェーン接続（数珠つなぎ）
数珠つなぎに一列に接続する場合は、本機を含めて17台まで接続できます。

ツリー接続
i.LINK端子を3個以上備えている機器がある場合、途中で分岐して接続することもできます。本機を含めて17台まで接続できます。

信号を出力した機器に、同じ信号が戻ってしまうと動作しません。接続が輪(ループ)にならないように注意してください。

この機器のi.LINKインターフェースは、以下の規格に基づいて設計されています。
1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格のAM824 sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、DVD-Audio、スーパーオーディオCDに対応しています。

各部の名称（本体）

A 電源ボタン [POWER]
電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

B 再生エリアボタン [PLAY AREA]
ハイブリッドのスーパーオーディオCDをセットした状態で停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(21ページ)

このボタンを2秒以上押すと、デジタル出力と優先再生エリアの設定モードになります。(18ページ)

C ディスクトレーとシャッター

D スキップボタン [⏮ / ⏭]
前または後ろにスキップします。再生中に1秒以上押し続けると再生スピードが変わります。(22ページ)

E オープン/クローズボタン [OPEN/CLOSE]
ディスクトレーを開閉します。
トレーの開閉中とディスクの読み込み中は、インジケーターが点滅します。
トレーにディスクがセットされているときは、インジケーターが点灯します。

F 再生/一時停止ボタン [PLAY]
ディスクを再生または一時停止します。
インジケーターは、再生中は点灯し、一時停止中は点滅します。(21ページ)

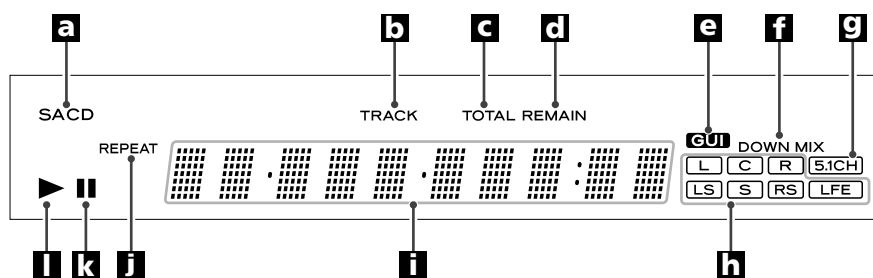
G 停止ボタン [STOP]
再生を停止します。(21ページ)

H ディスプレー

I リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(17ページ)

J アップコンバートボタン [UP CONVERT]
アップコンバートの倍率を切り換えます。
(26ページ)

K ワードボタン [WORD]
ワードシンクのオンとオフを切り換えます。オンにすると、外部入力クロックをマスターとしてシンク動作します。(27ページ)

各部の名称（ディスプレー）

a **ディスクインジケーター**
セットされているディスクの種類(スーパーオーディオCDまたはCD)を表示します。

b **トラックインジケーター**
トラック番号を表示しているときに点灯します。(25ページ)

c **トータルインジケーター**
総再生時間の表示中に点灯します。(25ページ)

d **リメインインジケーター**
残り再生時間の表示中に点灯します。(25ページ)

e **GUIインジケーター**
SETUPボタンを押して設定モードにすると点灯します。

f **ダウンミックスインジケーター**
マルチチャンネルの音声をダウンミックスして出力しているときに点灯します。(24ページ)

g **5.1チャンネルインジケーター**
音声出力の設定が「Multi ch」のときに点灯します。(24ページ)

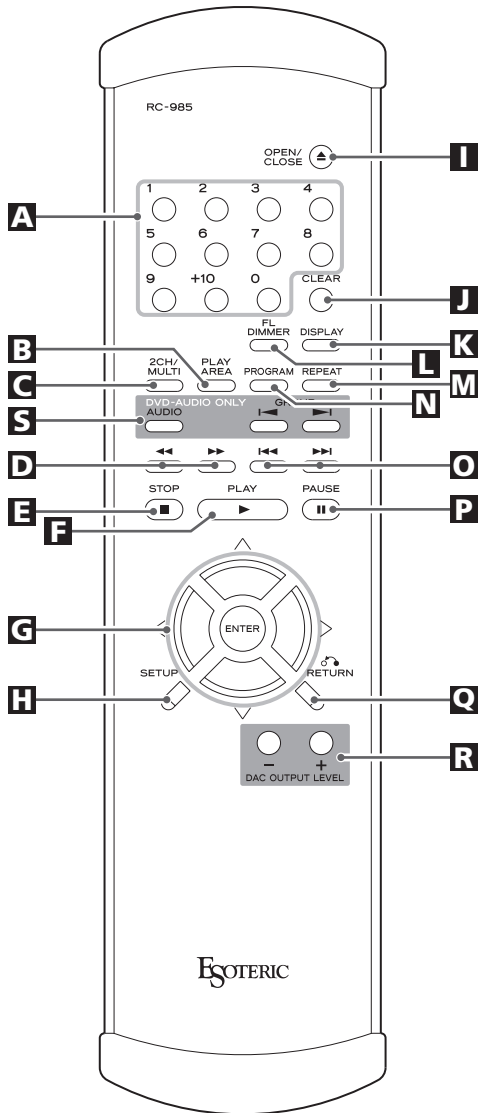
h **チャンネルインジケーター**
再生中の音声チャンネルが点灯します。

i **メッセージ表示部**
再生時間など各種メッセージが表示されます。

j **リピートインジケーター**
リピート再生中に点灯します。(24ページ)

k **一時停止インジケーター**
一時停止中に点灯します。(21ページ)

l **再生インジケーター**
再生中に点灯します。(20ページ)

各部の名称（リモコン）

A 数字キー
選曲に使います。

B 再生エリアボタン [PLAY AREA]
ハイブリッドのスーパーオーディオCDをセットした状態で停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(21ページ)

C 2チャンネル/マルチチャンネルボタン [2CH/MULTI]
音声出力の2チャンネル/マルチチャンネルを切り換えます。(24ページ)

D スキャンボタン [SCAN]
早送り/早戻しに使用します。(22ページ)

E 停止ボタン(■)
再生を停止します。(21ページ)

F 再生ボタン(►)
ディスクを再生します。(20ページ)

G 方向ボタン(上下左右)とENTERボタン
設定モードで使います。方向ボタンで項目を選択して、ENTERボタンで確定します。(28ページ)

H セットアップボタン [SETUP]
設定モードにするときに押します。(28ページ)

I オープン/クローズボタン(⏏)
ディスクトレーを開閉します。(21ページ)

J クリアボタン [CLEAR]
数字キーを押し間違えたときなどに使います。

K ディスプレーボタン [DISPLAY]
再生中または停止中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(25ページ)

リモコンの使い方

L FLディマーボタン [FL DIMMER]
本体のディスプレーの明るさを4段階で調節できます。(25ページ)

M リピートボタン [REPEAT]
リピート再生に使用します。(24ページ)

N プログラムボタン [PROGRAM]
プログラム再生に使用します。(23ページ)

O スキップボタン(⏮/⏭)
前または後ろのトラックにスキップします。
(22ページ)

P 一時停止ボタン(⏸)
再生を一時停止します。(21ページ)

Q リターンボタン [RETURN]
設定モードになっているときにこのボタンを押すと、一つ上の項目に戻ります。(28ページ)

R DAC出力レベルボタン [DAC OUTPUT LEVEL]
別売のD/AコンバーターD-01の出力レベルを調節できます。このボタンを押すときは、リモコンの先端をD-01のディスプレーに向けてください。
(D-03では機能しません)

S DVDオーディオ専用ボタン
以下のボタンはDVDオーディオ専用です。将来、P-03をバージョンアップすると使えるようになります。

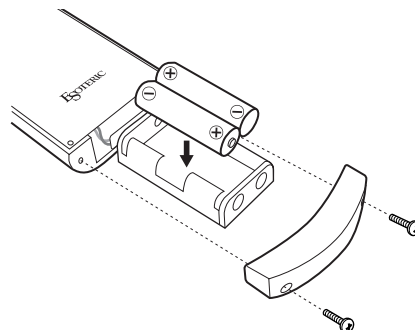
オーディオボタン [AUDIO]
再生中にこのボタンを押すと、音声が切り換わります。

グループボタン [GROUP]
前または後ろのグループにスキップします。

リモコン使用上の注意

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。

電池の交換時期は…

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

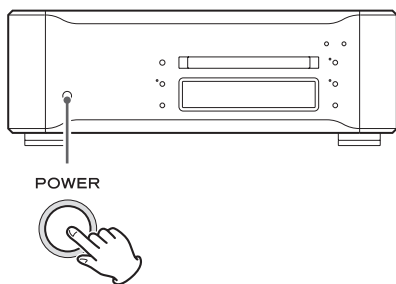
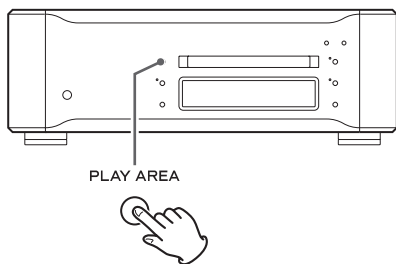
⚠ **乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。**

- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

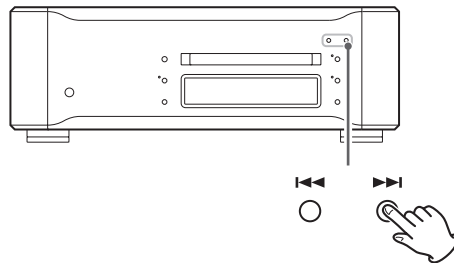
デジタル出力と優先再生エリアの切換

接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。正しく設定しないと、音が出ません。

P-03を初めてお使いになるときや、設定を工場出荷時の状態に戻したときは、別紙「初めにお読みください・P-03を初めてお使いになるときは」の方法で設定してください。

1 本体の電源をオンにする。

2 PLAYAREAボタンを2秒以上押し続ける。

ディスプレーに「OUT>***」が表示されたら指を離してください。
(***の部分は設定によって異なります)

設定モードになり、GUIインジケータが点灯します。

3 スキップボタン(⏮/⏭)を使って、デジタル出力を切り換える。

XLR、DUAL、i.LINK、RCA

スキップボタン(⏮/⏭)を押すたびに設定が変わります。D/Aコンバーターが接続されている端子を選んでください。

- Dual AES対応の機器と本機を2本のXLRデジタルケーブルで接続している場合は、DUALを選んでください。

- ES-LINKは、スーパーオーディオCDのデジタル出力を可能にしたエソテリック独自のフォーマットです。エソテリックのES-LINK対応のD/Aコンバーター(D-03またはD-01)と本機のXLR端子を2本のXLRデジタルケーブルで接続し、デジタル出力をDUALに設定した状態でスーパーオーディオCDを再生すると、自動的にES-LINKフォーマットでの出力となります。

デジタル出力だけを設定する場合は、**3**の設定後10秒放置すると設定を終了して通常の表示に戻ります。

スーパーオーディオCDの再生エリアを設定する場合は、**4**に進んでください。

4 PLAY AREAボタンを軽く押す。

PLAY AREA

現在の設定(「LAYER>SACD」または
「LAYER>CD」)が表示されます。

スーパーオーディオCDの中には、2チャンネルとマルチチャンネルが記録されたディスクや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているハイブリッドディスクがあります。

ハイブリッドのスーパーオーディオCDをセットしたときに、どの層を優先的に再生するのか、ここであらかじめ設定しておくことができます。

5 設定を変える場合はスキップボタン(⏮/⏭)を押す。

⏮ ⏭

SACD(出荷時の設定):
スーパーオーディオCD層を優先的に読み込みます。
24または30ページの2ch/マルチchの切換が「2ch」に設定されているときは、2チャンネルの層を再生します。「Multi ch」に設定されているときは、マルチチャンネルの層を再生します。

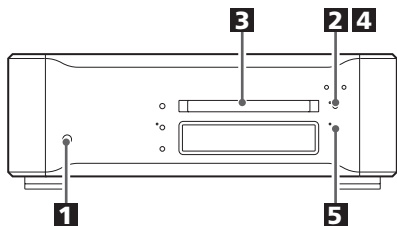
CD:
CD層を優先的に読み込みます。

- ここで選んだ層がディスクに収録されていない場合は、他の層を再生します。
- ディスクの停止中にPLAY AREAボタンで再生エリアを切り換えた場合(21ページ)、ディスクを交換するとここで選んだ設定に戻ります。

6 PLAY AREAボタンを軽く押して設定を終了する。

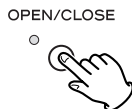
PLAY AREA

または、10秒間放置すると設定を終了して通常の表示に戻ります。

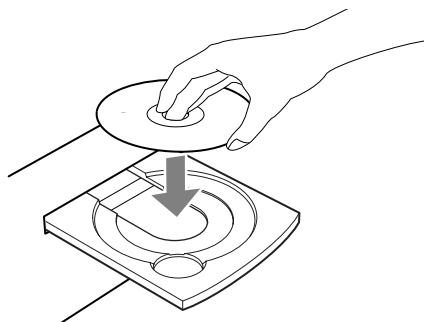
再　生

1 本体の電源をオンにする。

電源ボタン(POWER)を押すたびに、電源のオン/オフが切り換わります。オンのときは、電源ボタンの周囲とディスプレーが点灯します。

- 本機を使用するときは、接続してある機器(D/Aコンバーター、アンプなど)の電源もオンにしてください。
- WORDボタンをオンに設定している場合、電源をオンにした直後はワード信号を検知できないため、ディスプレーに「WRD UNLOCK!」や「NO WORD!」が表示されますが、接続した機器の電源を入れて、ワード信号がロックされれば、表示は消えます。

2 OPEN/CLOSEボタンを押す。

シャッターが開き、ディスクトレーが手前に出ます。

- 本機はメカニズムの構造上、トレーが開く前にピックアップを最外周に移動しますので、トレーが開くまでに時間がかかります。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。

- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

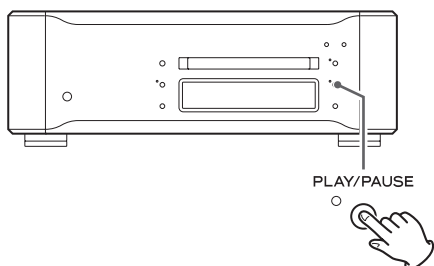
4 OPEN/CLOSEボタンを押す。

ディスクトレーとシャッターが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- トレーの開閉中とディスクの読み込み中は、OPEN/CLOSEボタンのインジケーターが点滅します。
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。「LOADING」(ディスク読み込み中)が表示されたあと、ディスクの総曲数と総再生時間が表示されます。

5 PLAY/PAUSEボタンを押す。

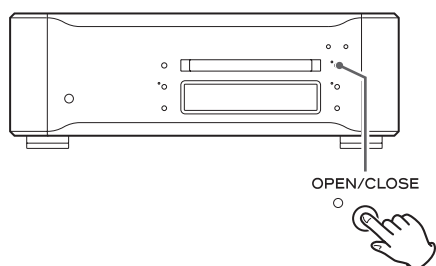
再生が始まります。

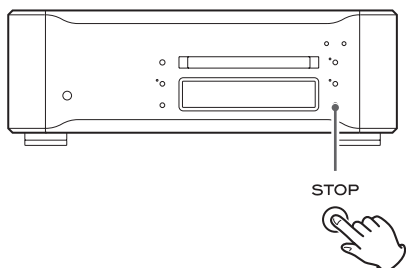
一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSEボタンを押すと再生が一時停止し、インジケーターが点灯します。

もう一度PLAY/PAUSEボタンを押すと、再び再生が始まります。

再生をやめるには

STOPボタンを押すと再生が停止します。

ディスクトレーを開閉するには

OPEN/CLOSEボタンを押すとトレーが開き、もう一度押すと閉まります。

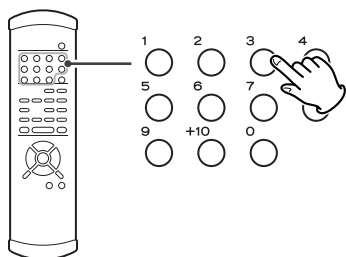
● ディスクの再生中にOPEN/CLOSEボタンを押した場合は、トレーが開くのに数秒かかります。

再生エリアを切り換えるには

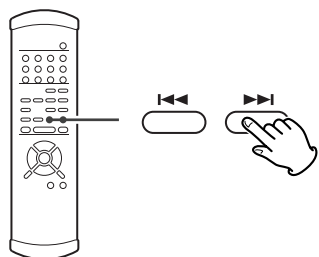
スーパーオーディオCDの中には、2チャンネルとマルチチャンネルが記録されたディスクや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造になっているハイブリッドディスクがあります。

ハイブリッドのスーパーオーディオCDをセットした状態で、停止中にPLAY AREAボタンを押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えることができます。

● どの層を優先的に再生するのかあらかじめ設定しておくこともできます。(18～19ページ)

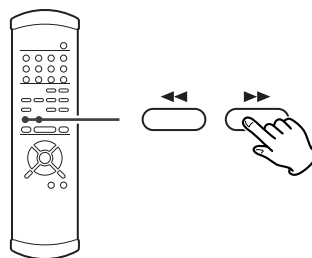
選　曲

数字キーで選んで再生するには

再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

スキップするには

再生中に本体またはリモコンのスキップボタン(⏮/⏭)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

● ⏮ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ ボタンを続けて押してください。
ただし、曲の最初の1秒以内で⏮ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

● 停止中または一時停止中に⏮ / ⏭ ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

早送り/早戻しするには(スキャン)

再生中にリモコンのスキャンボタン(◀◀ / ▶▶)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、PLAYボタン(▶)を押してください。

スキャンボタン(◀◀ / ▶▶)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が3段階に変わります。

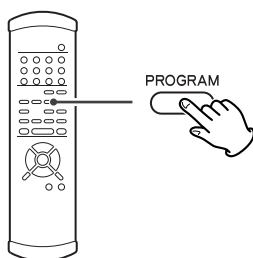
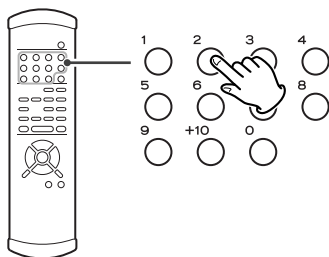
▶▶ ：早送り(1)→早送り(2)→早送り(3)→通常の再生
◀◀ ：早戻し(1)→早戻し(2)→早戻し(3)→通常の再生

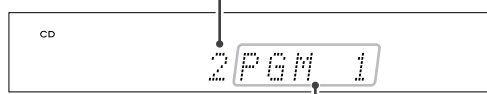
● 本体の場合は、再生中にスキップボタン(⏮ / ⏭)を1秒以上押すと早送り/早戻しの速度が変わります。

プログラム再生

聴きたい曲を聴きたい順に、30曲までプログラムできます。

1 停止中または再生中にPROGRAMボタンを押す。

再生中の場合は、その曲が1番目にプログラムされます。

2 数字キーでプログラムしたい曲番を選ぶ。

2の場合 ：2
12の場合 ：+10→2
20の場合 ：+10→+10→0

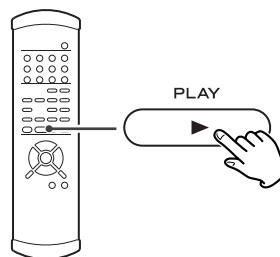
プログラムされたトラック番号

プログラムされた曲の合計時間を表示した後、プログラム番号(1〜30)を表示します。

複数の曲をプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

- 数字キーを押し間違えたときは、CLEARボタンを押すと最後にプログラムした曲だけを消去できます。
- そのディスクに存在しない番号はプログラムできません。

3 プログラムが終わったら、PLAYボタン(►)を押す。

プログラム再生が始まります。

- 再生中にプログラムした場合は、PLAYボタンを押す必要はありません。

プログラムを修正するには

CLEARボタンを押すと最後にプログラムした番号が消去できます。

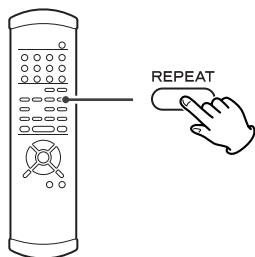
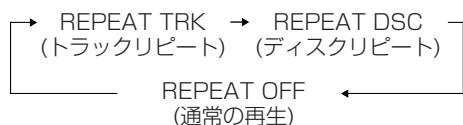
プログラムを追加するには

停止中または再生中に、数字キーで追加したい番号を選んでください。

通常の再生に戻るには

PROGRAMボタンを押すとプログラムモードは解除されます。プログラム再生中にPROGRAMボタンを押した場合は、そこから通常の再生に戻ります。

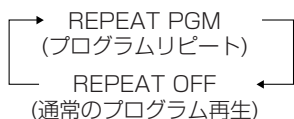
- プログラム内容は消去されます。
また、OPEN/CLOSEボタンを押した場合もプログラム内容は消去されます。

リピート再生

再生中にREPEATボタンを押すたびに、リピートモードが変わります。

REPEAT TRK (トラックリピート)

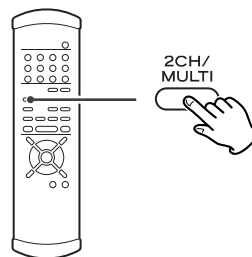
再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

REPEAT DSC (ディスクリピート)

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

プログラム再生中は、REPEATボタンを1回押すと、プログラムされている曲をくり返し再生します。

● 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

● 以下のボタンを押すとリピート再生は解除されます。
  STOPボタン
  OPEN/CLOSEボタン
  電源ボタン

2ch/マルチchの切換

停止中に2CH/MULTIボタンを押すたびに、2CH/マルチCHの設定が切り換わります。

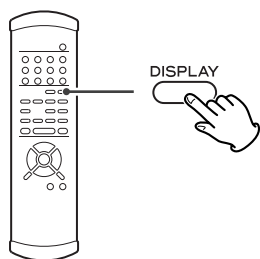
2ch

2チャンネルの音声を出力します。スーパーオーディオCDのマルチチャンネルソースを再生すると、音声はフロントL、Rにダウンミックスされます。(ダウンミックスインジケーターが点灯します)
ステレオ再生するときに選んでください。

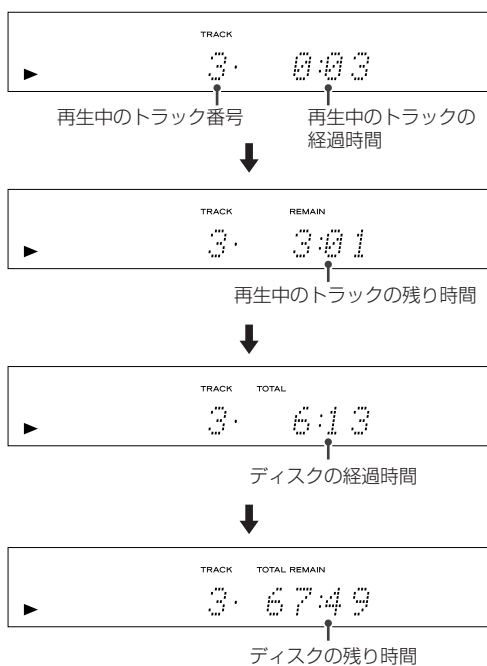
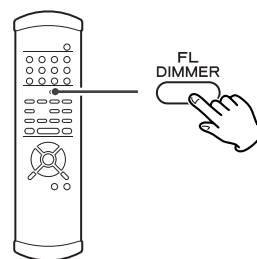
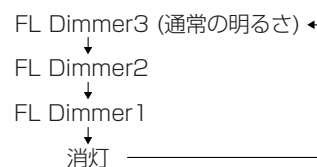
Multi ch (マルチCH):

5.1チャンネルの独立した音声が出力されます。D-03を3台使用する場合、またはマルチチャンネルのD/Aコンバーターとi.LINKで接続しているときに選んでください。

●「Multi ch」に設定すると、5.1チャンネルインジケーターが点灯します。

ディスクの情報を見る

再生中または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

● 停止中はディスクの総曲数と総再生時間を表示します。

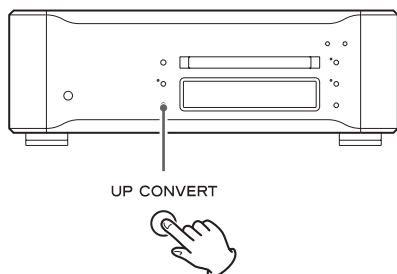
● プログラム再生中はディスプレーの表示を切り換えることはできません。

ディマー

本体のディスプレーとボタンインジケーターの明るさを4段階で調節できます。

● 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレーが点灯します。

● 「消灯」を選んだ場合、電源をオフにすると消灯は解除され、次に電源を入れたときはDimmer1の明るさになります。

アップコンバート

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、1倍、2倍または4倍にアップコンバートして出力することができます。CDのPCM信号を、DSD信号に変換して出力することもできます。

アップコンバートボタンを1回押すと、現在の設定が表示されます。設定を変更するときは、アップコンバートボタンを続けて押してください。

ボタンを押してから3秒経つと、通常の表示に戻ります。

CONV 44.1

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、1倍にアップコンバートして出力します。

CONV 88.2

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、2倍にアップコンバートして出力します。

CONV 176.4

CDの44.1kHzのサンプリング周波数を、4倍にアップコンバートして出力します。

● デジタル出力(18ページ)がDUALに設定された状態で176.4を選ぶと、XLR1(L)端子からは88.2kHzのLチャンネルを、XLR2(R)端子からは88.2kHzのRチャンネルを出力します。
2本のXLRケーブルを使って、Dual AES対応のD/Aコンバーターと接続しておいてください。

CONV DSD

XLR端子をES-LINK対応機器と接続している場合は、CDのPCM信号を、スーパーオーディオCDで使われているDSD信号(1bit 64fs)に変換してXLR端子から出力することができます。(他の端子からは出力できません)

CONV OFF

アップコンバート機能をオフにします。

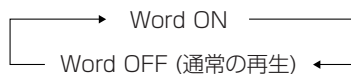
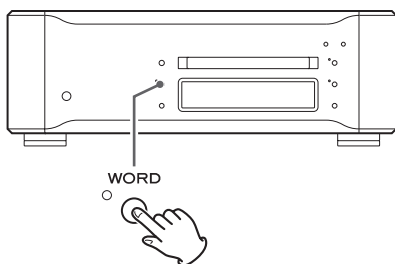
● スーパーオーディオCDは、DSD信号(1bit 64fs)をそのまま出力しますので、アップコンバートしません。

● デジタル出力(19ページ)がDUALに設定された状態で44.1またはOFFを選ぶと、データを出力できません。88.2または176.4を選んでください。

● i.LINK端子からは、アップコンバートした信号およびDSDに変換した信号は出力できません。
RCA端子からは、DSDに変換した信号は出力できません。詳しくは10ページの表をご覧ください。

ワードシンク

エソテリックD-03やG-0/G-0sなど、外部同期信号(ワードクロック)を出力する機器と接続し、システムの同期(クロック)を一元化して再生するときや、内部クロックのかわりに高精度な外部クロックでシンク動作させるときに使用します。

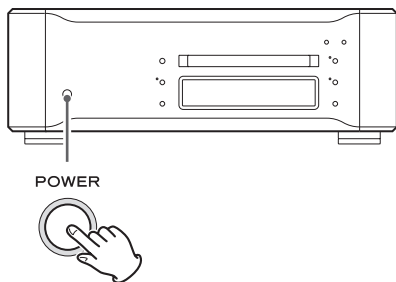
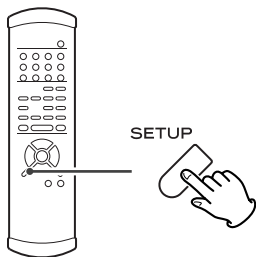
本体のWORDボタンを押すたびに、ワードシンクのオンとオフが切り換わります。

● 本機は以下のクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。
　44.1kHz、88.2kHz、100kHz、176.4kHz、
本機はユニバーサルクロック(100kHz)に対応しています。

●「Word ON」を選ぶと、インジケーターが点滅して外部クロックをサーチします。クロックを感知してロックすると点灯(青)に変わり、外部同期による再生が可能になります。

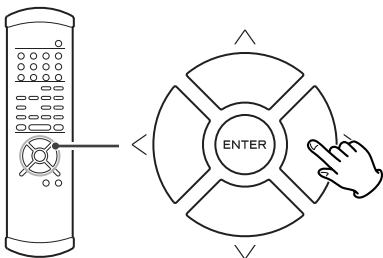
● あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。

● ワードシンクのオン/オフを切り換えると、D/Aコンバーターからノイズが出ることがあります。本機を停止して、アンプの音量を絞ってから操作してください。

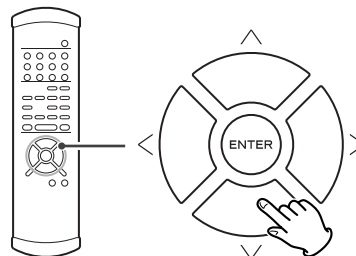
設定について

1 電源を入れる。

2 SETUPボタンを押す。

設定モードになり、GUIインジケーターが点灯します。ディスプレーに最初の項目(AudioSetup)が表示されます。

● ディスクの再生中でも設定モードにできますが、変更できない項目があります。変更したい場合は再生を停止してください。
● 設定モードを中断する場合は、もう一度SETUPボタンを押してください。

3 方向ボタンで設定する項目を選ぶ。

● 設定項目は何層にもなっていますので、次のページの表を参照して方向ボタンで選んでください。
最下層の選択肢には、ディスプレーの表示の最初に「>」が付いています。

戻るときには、方向ボタン(左と上)を押すかわりに、RETURNボタンでも上位の項目に移動します。

4 方向ボタン(上下)で設定したい選択肢を選んでENTERボタンを押す。

各設定内容については、30〜32ページをお読みください。
数値を設定する場合は、方向ボタン(上下)で変わります。(ENTERボタンを押す必要はありません)

複数の項目を設定する場合は、**3**〜**4**の操作をくり返してください。

5 設定が終わったら、SETUPボタンを押して設定を終了する。

AudioSetup
(音声設定)
GeneralSet
(環境設定)
2ch/Multi
(2ch/マルチch切換)
各選択肢へ
Stream Out
(i.LINK出力の設定)
各選択肢へ
CD Direct
(CDダイレクト)
各選択肢へ
SP Setup
(スピーカー設定)
SP Size
(スピーカーサイズ)
L/R Size
(フロント)
各選択肢へ
C Size
(センター)
各選択肢へ
SR/SL Size
(サラウンド)
各選択肢へ
SW ON/OFF
(サブウーハー)
各選択肢へ
Distance
(スピーカー距離)
L/R *.*m
(フロント)
数値入力画面へ
C *.*m
(センター)
数値入力画面へ
SR/SL *.*m
(サラウンド)
数値入力画面へ
SP Level
(スピーカーレベル)
LR ***.*dB
(フロント)
数値入力画面へ
C ***.*dB
(センター)
数値入力画面へ
SR ***.*-dB
(サラウンド右)
数値入力画面へ
SL ***.*dB
(サラウンド左)
数値入力画面へ
SW ***.*dB
(サブウーハー)
数値入力画面へ
Test Start
(テストトーン開始)
Test Tone
(テストトーン長さ)
各選択肢へ

音声設定

2ch/マルチchの切換 (2ch/Multi)

＞のついた項目を方向ボタン(上下)で変更して、ENTERボタンを押してください。

2ch (ステレオ、出荷時の設定)：
2チャンネルの音声を出力します。マルチチャンネルの音声は、2チャンネルにダウンミックスして出力します。

Multi ch (マルチCH)：
5.1チャンネルの独立した音声が出力されます。i.LINK(AUDIO)端子をマルチチャンネルのD/Aコンバーターと接続しているときに選んでください。

i.LINK出力の設定 (Stream Out)

CDの再生時にi.LINK(AUDIO)端子から出力する信号の種類を切り換えます。
＞のついた項目を方向ボタン(上下)で変更して、ENTERボタンを押してください。

ON (オン)：
CD再生時に、60958モード(ストリーム)で出力します。

OFF (オフ)：
CD再生時に、リニアPCMデジタル信号を出力します。

● 接続した機器によっては、OFFに設定すると信号を認識できないことがあります。その場合はONに設定してください。

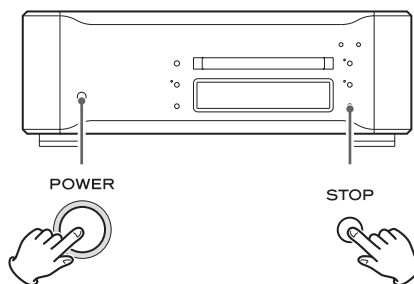
● スーパーオーディオCDの再生時は、どちらに設定しても常にDSD信号を出力します。

CDダイレクト (CD Direct)

＞のついた項目を方向ボタン(上下)で変更して、ENTERボタンを押してください。

Direct (ダイレクト、出荷時の設定)：
スピーカー設定などの回路をバイパスします。2チャンネルでお聴きになる場合などはこちらを選択してください。

Normal (ノーマル)：
本機でスピーカー設定をしてマルチチャンネルでお聴きになる場合などはこちらを選択してください。

工場出荷時の状態に戻すには

設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. 電源をオフにする。
電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

2. STOPボタンを押しながら電源ボタンを押す。
電源がオンになりディスプレーが点灯するまで、STOPボタンから指を離さないでください。

スピーカー設定

スピーカーのサイズ設定 (SP Size)

フロントスピーカー(L/R)、センタースピーカー(C)、サラウンドスピーカー(SR/SL)、サブウーハー(SW)を別々に設定できます。
>のついた項目を方向ボタン(上下)で変更して、ENTERボタンを押してください。

Large (ラージ、出荷時の設定)：
低音まで再生できる大きいスピーカーを使う場合は、こちらを選択してください。

Small (スモール)：
小さいスピーカーを使う場合はこちらを選択してください。「Small」を選択したチャンネルの低音はサブウーハーから出力されます。

OFF (なし)：
そのチャンネルのスピーカーを使わない場合、「OFF」を選択してください。「OFF」に設定したチャンネルの音声は他のチャンネルに振り分けられます。
● L/Rは「OFF」にできません。

ON (あり、出荷時の設定)：
サブウーハーを使用する場合は「ON」を選んでください。

● フロントスピーカーの「Small」とサブウーハーの「OFF」は同時には選択できません。

スピーカーのレベル調節 (SP Level)

各スピーカーのバランスを調節します。

各項目の数値を方向ボタン(上下)で変更してください。各スピーカーとも、－12dB～6dBの範囲で0.5dB刻みで調節できます。

L/R ：フロントスピーカー
C ：センタースピーカー
SR ：サラウンドスピーカー右
SL ：サラウンドスピーカー左
SW ：サブウーハー

スピーカー設定 （続き）

「スピーカーの距離設定」、「テストトーン開始」、「テストトーンの長さ」は、将来P-03のバージョンアップでDVDオーディオに対応したときに必要になる設定です。

CDおよびスーパーオーディオCDの再生には関係ありませんので、本機をバージョンアップしていない場合は、設定する必要はありません。

スピーカーの距離設定 (Distance)

同一サイズのスピーカーを視聴位置から等距離に配置するのが理想です。等距離に置けない場合、視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定します。

各項目の数値を方向ボタン(上下)で変更してください。

フロントスピーカー (L/R)：
0.3m～9.0mの範囲で0.1m刻みで設定できます。
工場出荷時は3mに設定されています。

センタースピーカー (C)：
フロントスピーカーの設定より1.7m短い距離から、フロントスピーカーと同じ距離まで、0.1m刻みで設定できます。
工場出荷時の設定では、フロントスピーカーの設定と同じ値になります。

サラウンドスピーカー (SR/SL)：
フロントスピーカーの設定より9m短い距離から、フロントスピーカーと同じ距離まで、0.1m刻みで設定できます。ただし、最小値は0mです。
工場出荷時の設定では、フロントスピーカーの設定と同じ値になります。

- L/Rの設定値を変更すると、CとSR/SLの設定値も同時に変わります。L/Rを設定してからCとSR/SLを設定してください。
- L/Rの距離が設定範囲外のときは、CとL/R、SR/SLとL/Rの差が合うように数値を設定してください。

テストトーン開始 (Test Start)

テストトーンを使うと、各スピーカーからの音を聴きながらレベルを調節できます。

1. 「Test Start」の項目を表示して、ENTERボタンを押します。
2. 音を聴きながら、方向ボタン(上下)で各スピーカーの項目に移動し、方向ボタン(右)を押します。
3. 方向ボタン(上下)で各項目の数値を調節してください。

- 上位の項目に移動すると、テストトーンは停止します。
- テストトーンの音量が小さくて聞こえない場合、または大きすぎる場合は、アンプ側で音量を調節してください。

テストトーンの長さ (Test tone)

レベル調節のときに出力するテストトーンの長さを変えることができます。方向ボタンでお好みの長さを選んでENTERボタンを押してください。
＞のついた項目を方向ボタン(上下)で変更して、ENTERボタンを押してください。

2sec(2秒)、5sec(5秒)、10sec(10秒)から選ぶことができます。

ブロック・ダイアグラム

VRDS-NEOメカニズム
Motor Driver
RF Amp
MCK
Front End DSP
DSD Decoder
Super Audio CD
Back End DSP
PCM Audio DSP
CD (DVD-Audio)
MCK
60958
WORD IN
Word IN PLL
Master Clock X'tal
MCK
XLR 1 (L)
Digital Audio I/F Transmitter
MCK
XLR 2 (R)
Digital Audio I/F Transmitter
DSRLL III Upconverter (L/R)
PCM
ES-LINK Encoder
DSD
RCA
Digital Audio I/F Transmitter
DSD
PCM
PCM-DSD Converter
PCM
i.LINK(AUDIO) (IEEE1394)
1394 Transmitter
DSD
60958

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。
➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない。
➡ 本体の電源をオンにしてください。(20ページ)
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(17ページ)
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(17ページ)

テレビなどが誤動作する。
➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

再生できない。
➡ ディスクをトレーの中心に正しくセットしてください。
➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(9ページ)
➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。(8ページ)

ボタンを押しても反応しない。
➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。
➡ D/Aコンバーター、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(10ページ)
➡ 接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。(19ページ)
➡ アンプなどの音量を調節してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタンを押して通常の再生に戻してください。

スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力できない。

➡ スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力するためには、エソテリックのES-LINK対応のD/Aコンバーター(D-03またはD-01)、またはi.LINK(AUDIO)端子のあるD/Aコンバーターが必要です。

➡ マルチチャンネルの音声を出力するためには、i.LINK(AUDIO)端子をマルチチャンネル対応のD/Aコンバーターと接続し、「2ch/Multi」の設定を「Multi ch」にしてください。(24, 30ページ)

WORDインジケーターが点滅する。

➡ ワードクロックが入力されてない時は、ワードシンクはオフにしてください。(27ページ)

➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「No Word!」が表示される。

➡ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。

➡ ワードクロックが入力されてない時は、ワードシンクはオフにしてください。(27ページ)

「Word Error」が表示される。

➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「WRD UNLOCK!」が表示される。

➡ 入力されているワードクロックをロックできません。接続している機器の設定を確認してください。(27ページ)

ディスクトレーの開閉時に「TRAY ERR!」が表示される。

➡ ディスクトレーの前に障害物があったり、ディスクが正しくセットされていないと、開閉の途中でトレーが止まり、「TRAY ERR!」が表示されます。原因を取り除いてからOPEN/CLOSEボタンを押せば、トレーは元の位置に戻ります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD、CD-R、CD-RW

一般

電源 . . . . 100V AC 50-60Hz
消費電力 24W
外形寸法(WxHxD、突起部含まず)
445mm×159mm×420mm

質量 30kg

許容動作温度 . . . . +5℃〜+35℃
許容動作湿度 . . . . 5%〜85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃〜+55℃

デジタル出力

XLR端子×2系統（ES-LINKおよびDual AES出力時は、2つの端子を使用するので1系統になります）

i.LINK(AUDIO)端子×1系統

RCA端子×1系統

ワードシンク入力フォーマット

端子 . . . . BNC×1
入力可能周波数 (矩形波)
44.1kHz、88.2kHz、100kHz、176.4kHz
入力レベル TTLレベル相当/75Ω
ワードクロック入力周波数レンジ . . . . ±15ppm

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-985)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書×1
ご愛用者カード×1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。
添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から一年です。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

34ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCD/CDトランスポート P-03
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp/av

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN JAPAN　1207·MA-1002C